

## 「と」「ば」「たら」「なら」の違い

### I 基本的な用法

- 1 「たら」は多くの場合に使える。

雨が降**たら**、運動会は延期します。(通知)  
えんき つうち

雨が降**たら**、うちで寝ていよう。(意志)

雨が降**たら**、うちで寝ていたい。(希望)

雨が降**たら**、早くうちに帰りなさい。(命令)  
帰れ。

雨が降**たら**、涼しくなった。(過去の事実)  
すず

- 2 「たら」は完了、「なら」は未完了。

中国に帰**たら**、友達におみやげを買います。  
(中国で日本の友達に)

中国に帰**なら**、友達におみやげを買います。  
(日本で中国の友達に)

あした休む**なら**、今日宿題を出しなさい。

リンさんが北海道に行く**なら**、私も一緒に行きたいです。  
いっしょ

- 3 名詞のあとに「なら」が来る。

はさみ**なら**、ここにあります。  
(「は」)

- 4 いつも同じことは「と」「ば」を使う。

春になると、桜が咲きます。(恒<sup>こうじょう</sup>常条件)  
なれば

冬になると、(私は毎年)スキーに行きます。(習慣)  
なれば

- 5 過去の事実は「たら」「と」を使う。

窓の外を見たら、かわいい女の子が歩いていた。  
見ると

- 6 「ったら」で、非難<sup>ひなん</sup>や驚き<sup>おどろ</sup>、焦れ<sup>し</sup>ったさなどを表す。

兄さんったら、どうして部屋の掃除しないのよ。(非難)  
('は' + 感情)

田中さんったら、結婚したばかりなのに、もう子供が出来たらしいよ。(驚き)  
('は' + 感情)

早くしろったら。急がないと間に合わないよ。(焦れ<sup>し</sup>ったさ)

## II 応用的な用法

- 7 現実に反する仮定 (反実<sup>はんじつ</sup>仮想<sup>かそう</sup>) は「たら」を使う。

もしあのとき、本当のことを言っていたら、許してもらえたのに。  
(本当のことを言わなかったから、許してもらえなかった。)

浮気をしなかったら、今も幸せに暮らしていただろうに。  
(浮気をしたから、今は幸せに暮らしていない。)

- 8 「意志」「希望」「命令」などは「たら」を使うのが一般的。  
ただし、従属<sup>じゅうぞく</sup>節が「ある」「ない」の場合は、「ば」も使える。

時間があ**つたら**、温泉おんせんに行**こう**。(意志)  
あれば

時間がな**かつたら**、またの**機会**に**しよう**。(意志)  
なければ

お金があ**つたら**、家を買**いたい**です。(希望)  
あれば

残ざんぎょう業がな**かつたら**、パーティーに出**たい**です。(希望)  
なければ

質問があ**つたら**、手を**あげなさい**。(命令)  
あれば

用事がな**かつたら**、すぐに**帰りなさい**。(命令)  
なければ

(従属節)                      (主節)

9 「としたら」「ものなら」は、非現実的な仮定を表す。

もし生まれ変われる**としたら**、男と女と**どちらがいい**ですか？

人生をやり直せる**ものなら**、**やり直したい**。

そんなこと、社長に言おう**ものなら**、すぐに**首になるぞ**！

(万一、そんなことを社長に言**ったら**、すぐに解雇かいごされるから、言わない方がいい。)

10 「たなら」は、確定した条件や、空想的なことを語るときに使う。

子供ができた**たなら**、二人の結婚は**許すしかない**な。(確定条件)  
(≡できたから)

もしも私が家を建て**たなら**、小さな家を**建てたでしょう**。(空想)